

地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、苅田町をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。



防災について家族で話し合おう

災害時に最も頼りになるのは家族です。家族そろって防災について話し合みましょう。

① 家族一人ひとりの役割分担

火の始末の係、お年寄りや乳幼児などの安全確保の係、非常持ち出し品の係など、家族一人ひとりの役割分担を決めましょう。

② 家族間の連絡方法

災害はいつ起こるか分かりません。災害用の居場所を伝える方法を考えましょう(災害用伝言ダイヤルの活用など)。

③ 避難所の確認

自宅、学校、勤務先から避難所への最も安全な経路と、家族全員が落ち合える場所を決めましょう。

④ 初期消火の方法を覚えましょう

消火器の置き場所や使い方を確認しましょう。

⑤ 家の内外の安全チェック

家屋の耐震化、家具などの転倒防止策、家の中や外の整理整頓をしましょう。

⑥ 非常持ち出し品・備蓄品のチェック

非常持ち出し品・備蓄品の食料や飲料水は賞味(消費)期限があります。定期的に確認しましょう。

⑦ 家庭内備蓄品は「ローリングストック」で

普段の食事に利用する食材を多めに常備して、製造日の古いものから消費し、消費した分を新しく買い足し、いざというときのために備える方法です。



非常持ち出し品の例	すぐに持ち出しするもの
<input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん)	<input type="checkbox"/> ライター
<input type="checkbox"/> 飲料水(500mlペットボトル程度)	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー、ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> 食料 アルファ米、チョコレート、ビスケット、缶切り不要の缶詰など	<input type="checkbox"/> 洗面用具
<input type="checkbox"/> 懐中電灯・予備の電池・携帯用充電器 年に一度は電池のチェック	<input type="checkbox"/> スポーツタオル
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 筆記用具
<input type="checkbox"/> 救急医薬品(消毒や傷の手当てができるよう)	<input type="checkbox"/> 貴重品 健康保険証、運転免許証、預貯金通帳、現金(小銭は多目に)、印鑑など
<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 軍手
<input type="checkbox"/> ろうそく	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋)
	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ

備蓄品の例	すぐに取り出せるように(1週間分を用意)
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安に)	<input type="checkbox"/> カセットコンロ(予備のガスボンベ)
<input type="checkbox"/> 毛布または寝袋	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ(携帯トイレ)
<input type="checkbox"/> ブルーシート(敷物、雨よけ用)	<input type="checkbox"/> ゴミ袋
<input type="checkbox"/> 食料 アルファ米、レトルト食品、乾パン、缶切り不要の缶詰など	<input type="checkbox"/> 布製ガムテープ
<input type="checkbox"/> 菓子類	<input type="checkbox"/> キッチン用ラップ
<input type="checkbox"/> 割り箸	※ 必要に応じて、紙おむつ、粉ミルク、生理用品など
<input type="checkbox"/> 衣類(下着、セーターなど)	
<input type="checkbox"/> 新聞紙	
<input type="checkbox"/> なべ	

※風呂の残り湯は捨てずに溜めておきましょう。水洗トイレの雑用水や消火用水など、飲用以外の生活用水として有効に活用できます。

苅田町の防災体制と避難情報

苅田町では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときには『災害対策本部』を設置し、対応します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発令します。



防災無線放送内容の電話案内サービス

防災無線にて放送する災害情報や苅田町からのお知らせ内容の電話案内を行います。暴風や大雨などで放送内容が聞き取りにくかったときや、聞き逃したとき等にご利用ください。

専用電話番号
093-588-1086

※通話料は、利用される方の負担となりますのでご了承ください。また、Jアラートによる自動放送時は利用できません。

警戒レベルと避難行動

令和元年6月より、避難情報等に加えて、住民が情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルを提供し、とるべき行動とその対応が明確化されました。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	避難情報	防災気象情報等
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	災害発生情報※1	警戒レベル5 相当情報 ●大雨特別警報 等
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	町が発令 避難指示(緊急)※2 避難勧告	警戒レベル4 相当情報 ●土砂災害警戒情報 ●危険度分布(危険) 等
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル3 相当情報 ●大雨、洪水警報 ●危険度分布(警戒) 等
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	気象庁が発表 洪水注意報 大雨注意報 等	▲これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	

■各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
(※1)災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令。(※2)地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令。